



「よろしくお願いいたします。」

秋田きらり支援学校 校長 新目 基

初めまして、ゆり支援学校からこの度ご縁がありまして、きらり支援学校に赴任して参りました、新目 基(あらためもとい)と申します。この30年度の教職員人事異動で、山本副校長、富士盛事務長はじめ総勢28名の教職員と一緒に着任しました。

実は、私事ではありますが、34年前の私の教員生活のスタートはきらり支援学校の前身である秋田養護学校臨時講師でした。小学部の学部所属になり、1年生から6年生までまんべんなくクラスに入っていました。その当時の小学部の子供たちも40歳代になり、今も連絡を取り合っている一人から、異動の新聞発表の夜に電話をもらいました。様々な昔話をしたり、ほかの卒業生の近況を聞いたりしながら感じたことは、秋田養護学校の卒業生は、きらり支援学校が自分たちの学校だという感覚をもってくれているということでした。

秋田県特別支援教育総合整備計画により、あきた総合支援エリアが開設し、秋田養護学校と勝平養護学校が統合され、きらり支援学校が誕生して8年がたちました。校名は変わりましたが、両校の卒業生や保護者の皆様が自分たちの母校であるという誇りをもち、いつも気にかけて応援してくださっているのだと心強い気持ちになりました。きらり支援学校は、若い学校ではありますが、伝統ある両校の卒業生や保護者の皆様、勤務していた先生方が応援団として有形無形の支援をしてくださっていると考えると頼もしい限りです。

きらり支援学校は、秋田県で唯一の肢体不自由の児童生徒のための特別支援学校です。本校の児童生徒や肢体不自由特別支援学級在籍の児童生徒にとどまらず、県内の通常学級に在籍している児童生徒も含め、肢体不自由教育のセンターとしての役割が期待されています。

また、現在、秋田県には病弱の特別支援学校が設置されていないため、県内の病弱教育を推進する役割も求められています。

目指す児童生徒像である「健やかに生き、自ら学び、豊かに表し、手をつなぐことのできる子供の育成」を目指して、併設されている県立医療療育センターとの連携はもちろんのこと、PTAの皆さんや地域の皆さん、学校関係者の皆さんと手を携え、在籍している児童生徒、卒業生の皆さんの期待にも応えることができるよう、教職員と一体となった学校運営を目指していきたいと思っております。皆様、応援よろしくお願いいたします。